

HDD故障時の対応

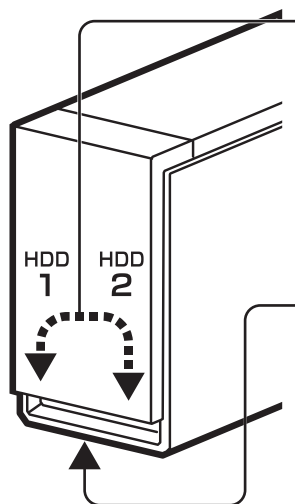
2ドライブ搭載 外付ハードディスク
HDS2-UTXシリーズ

故障と思ったら...

どちらのHDDが故障しているかを確認する必要があります。

前面のエラーランプでHDDの状態を監視できます。
HDDが故障した場合は、エラーランプが赤点灯します。

ランプ、ブザーの状態を確認する



▼エラーランプ(HDD 1、HDD 2共通)

表示	状態	説明
消灯	正常動作	問題はありません。
赤点滅 ✖	リビルド作業中	RAID再構成のためのリビルド作業中です。
赤点灯 ●	HDD故障	該当のHDDが故障しています。裏面の手順でHDDを交換してください。

▼電源/アクセスランプ

表示	状態	説明
紫点灯 ●	電源ON時	ミラーリングモード[RAID 1]で動作中です。
紫点滅 ✖	アクセス時	HDDにアクセス中です。(ミラーリングモード[RAID 1])
青点灯 ●	電源ON時	ストライピングモード[RAID 0]で動作中です。
青点滅 ✖	アクセス時	HDDにアクセス中です。(ストライピングモード[RAID 0])
赤点灯 ●	ファン異常	本製品のファンが異常のため停止しています。いったん電源を切り、再度電源を入れても同じ状態の場合は、修理をご依頼ください。

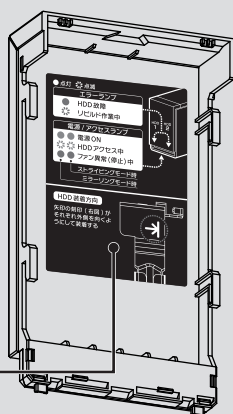
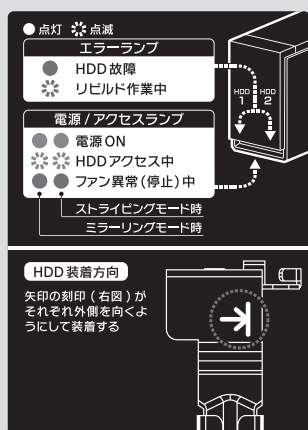
▼ブザー

音色	状態	説明
ピーピー	モード設定に入った時	モードの設定ができます。
ピッ	モード切替時	モードを切り替えました。(未確定状態)
ピー	モード確定時	切り替えたモードに確定しました。

※モードの切り替え方法は、別紙【接続ガイド】参照

ヒント

フロントカバーの裏で、簡易的なランプ表示を確認できます。



RAID MONITOR

RAID MONITORは、以下が確認できるアプリです。

- ・モード
 - ・リビルド進捗状況
 - ・本製品のドライブ情報
 - ・ステータス
- ディスク故障時には、ポップアップウィンドウで通知するとともに、指定したメールアドレスにメールを送信するように設定することができます。



●RAID MONITORのダウンロード方法

以下の弊社ホームページで本製品の型番(箱や本製品に記載)で検索します。

<http://www.iodata.jp/lib/>



HDD 交換方法

HDD に異常が発生し、正常動作しなくなった場合は、お客様ご自身で HDD を交換することができます。
最初に以下の【作業の前に】をご確認いただき、内容を充分にご理解の上で慎重に作業をおこなってください。

作業の前に

- ストライピングモード [RAID 0] でご使用の場合、HDD を交換してもデータの復元はできません。
- 必ず大切なデータをバックアップした上で作業してください。
- 交換用 HDD を準備してください。交換用 HDD は必ず弊社製オプション品の交換用 HDD をご使用ください。(別紙【必ずお読みください】参照)
- プラス (+) ドライバーをご用意ください。作業に必要となります。
- 故障していない HDD を交換した場合、すべてのデータが失われます。故障した HDD 番号を間違えないように充分ご注意ください。
- 動作中や電源を切った直後は、本製品表面が非常に熱くなっています。HDD の交換作業は、電源を切ってから充分に時間をおいておこなってください。
- 作業の結果、データを消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

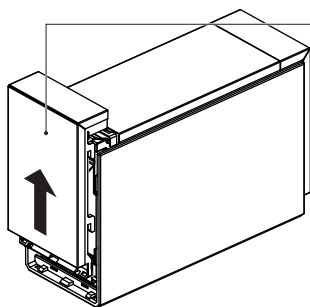
- 1 異常が発生した HDD 番号をメモする
※確認方法は、本紙表面を参照してください。

- 2 本製品を取り外す操作をおこなう

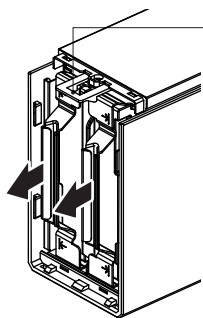
- Windows で使用している場合、別紙【接続ガイド】の操作をおこないます。
※必ずパソコンの電源を切る前におこなってください。
- LAN DISK で使用している場合、LAN DISK の取扱説明書をご確認の上、取り外します。

- 3 本製品の電源を切り、コード類をすべて取り外す

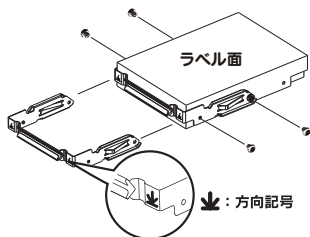
- 4 フロントパネルを上にもスライドしながら取り外す



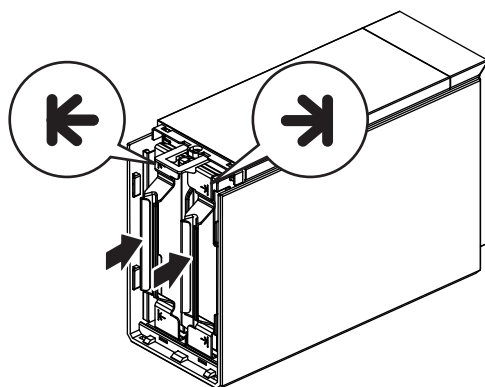
- 5 ツメを上げながら取手金具をつまみ、引き出す
※正常なディスクは抜かないでください。
※HDD を取り出す際には、少し力が必要です。



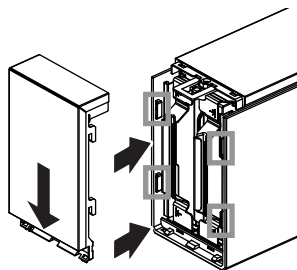
- 6 取り出した HDD の取手金具のネジ (4 本) をドライバーで取り外し、交換用 HDD に取り付ける
※HDD ラベルが上になるように置き、取手金具の方向記号の矢印が下向きになるように取り付けます。



- 7 交換用 HDD の取手金具の方向記号の矢印が、外向きになるようにして差し込む
※逆向きにすると、コネクタが破損する場合があります。
※交換用 HDD を外側に寄せて差し込むとスムーズに入ります。



- 8 フロントパネルをガイドに合わせ、下にスライドしながら取りつける



以上で、交換は完了です。接続機器につないでください。

この後の動作について

- ミラーリングモード [RAID 1] でご利用の場合
自動的に修復作業 (リビルド) が始まり、再構築されます。
※リビルド中は、修復中のエラーランプが赤点滅します。
※再構築までの所要時間: HDS2-UTX8.0 の場合、約 8 時間
(所要時間は、容量に応じて、およそ比例した時間を必要とします。
ご使用のモデルにあわせ目安としてください。)
- ストライピングモード [RAID 0] でご利用の場合
フォーマットしてください。(別紙【接続ガイド】裏面参照)